

第84回

日本呼吸器学会・

日本結核 非結核性抗酸菌症病学会

九州支部 春季学術講演会



会期

2020年3月14日土

会場

北九州国際会議場

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3丁目8-1

会長

森本 泰夫 産業医科大学 産業生態科学研究所
呼吸病態学 教授

プログラム・講演抄録

第84回
日本呼吸器学会・
日本結核 非結核性抗酸菌症病学会

九州支部 春季学術講演会

プログラム・講演抄録

会期 2020年3月14日(土)

会場 北九州国際会議場
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3丁目8-1

会長 森本 泰夫
産業医科大学 産業生態科学研究所
呼吸病態学 教授

事務局

産業医科大学 産業生態科学研究所 呼吸病態学
〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1
TEL: 093-691-7466 FAX: 093-691-4284
E-mail: jrsk84@mbox.med.uoeh-u.ac.jp

第84回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会
九州支部 春季学術講演会

開催にあたって

会長 森本 泰夫 産業医科大学 産業生態科学研究所
呼吸病態学 所長・教授



第84回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会九州支部 春季学術講演会を第83回秋季学術講演会に引き続き北九州国際会議場にて2020年3月14日(土)に開催させていただきます。今回は、日本結核病学会から日本結核・非結核性抗酸菌症学会に学会名が変更された最初の九州支部学術講演会であり、こちらも気持ちを一新して邁進する所存です。

招請講演では、本学学長で石綿研究や産業医学に関してわが国の第一人者である東敏昭先生が“「今に残る石綿問題 ―石綿問題が教えるもの」 Sociomedical lesson from asbestos issues”のタイトルで、ご自身の経験を踏まえた石綿に関わる様々な課題について講演していただきます。特別講演は3演題を企画しており、新潟大学医歯学総合病院センター部長・教授である中田光先生に“肺胞蛋白症の病因解明から診断・治療法開発に至る道のり”、東北大学産業医学分野教授 黒澤一先生には“COPDの診断と治療～JRSガイドライン第5版から3年目を迎えて”、近畿中央呼吸器センター 臨床研究センター長 井上義一先生には“肺線維症の診断治療を巡る最新情報：早期病変と進行性線維化性フェノタイプ”というテーマで講演していただきます。各分野においてご高名な先生方ですので、最新のトピックを講演していただけると考えております。

シンポジウムは、テーマを“細菌性呼吸感染症の進歩と課題”として、九州の新進気鋭の先生方に講演をお願いしております。共催セミナーにおいて、ランチョンセミナー3題“COPD診療の新展開～triple治療を日常診療の味方にする～”、“強皮症合併間質性肺疾患の新たな治療戦略”、“免疫チェックポイント阻害剤治療の理想と現実～すべてがガイドライン通りにいくとは限らない～”、アフタヌーンセミナー2題“耐性菌を考慮した肺炎診療の在り方”、“進行非小細胞肺癌の治療を考える”を予定しております。さらに教育講演として、禁煙、感染症、働き方改革における治療と仕事の両立支援、韓国で起きた加湿器殺菌剤による急性呼吸不全(その後)などの講演も併せて企画しております。このように職域環境を含め様々な呼吸器疾患の講演を用意させていただきます、内容の充実化を図っております。なお、ご協力いただきました演者や座長の先生方には、この場を借りて深く感謝いたします。

また、上記の招請講演、教育講演の一部は、日本医師会認定産業医生涯研修の対象講演(更新1単位、専門0.5単位)にもなっており、産業医の資格を取得した先生には、本学会の参加がより充実したものになることが期待されます。

3月の北九州は、玄界灘の海の幸が堪能でき、門司港レトロのイルミネーション、気軽に楽しめる角打ち体験、日本三大カルスト台地の一つである平尾台、アインシュタインが宿泊した旧門司三井倶楽部、童心に返ることができる北九州市漫画ミュージアムなど食に観光に楽しさ満載です。学会のみならず北九州市も満喫していただければ幸いです。

ご案内

参加者へのご案内

1. 参加受付

【受付場所】北九州国際会議場(北九州市小倉北区浅野3丁目9-30)

【受付時間】3月14日(土) 8:00～16:00

2. 学会参加費：3,000円

- ・会員カードをご持参ください。
- ・ネームカード(参加証兼領収書)を受け取り、所属、氏名を各自ご記入の上、会場内では常時ご着用ください。
- ・学会員の地方会費の納入はできかねますので、予めご了承ください。
- ・学部学生と研修医は無料です(※証明書を必ずご持参ください)。
- ・クレジットカードでのお支払いはできかねます。現金をご用意ください。

3. 呼吸器専門医更新研修単位の登録について

- ・受付にてバーコード付きの会員カードによる登録をお願いします。
- ・専門医単位登録は、参加受付と同時間になります。時間外の受付は行いませんのでご注意ください。
- ・記名式の単位登録票による受付は行いません。必ず会員カードをご持参ください。
- ・会員カードが無いと学会当日の単位登録はできません。なお、当日登録ができなかった場合は、専門医更新申請時に参加証のコピーをご提出ください。

4. 抄録集販売

- ・会員の方へは事前に抄録集を送付しております。
- ・学術講演当日は、総合受付にて1冊2,000円で販売いたします。

5. 共催セミナー

ランチョンセミナー1	3月14日(土)	11:50～12:40	A会場
ランチョンセミナー2	3月14日(土)	11:50～12:40	B会場
ランチョンセミナー3	3月14日(土)	11:50～12:40	C会場
アフタヌーンセミナー1	3月14日(土)	14:30～15:20	A会場
アフタヌーンセミナー2	3月14日(土)	14:30～15:20	B会場

6. 各種サービス

- ・クロークは1F イベントホール近くごに用意しております。
- ・託児サービスがございます。詳細は学会ホームページ(<https://jrsk84.secand.net/>)よりご確認ください。

7. 注意事項

- 昼食はランチョンセミナーをご利用いただくことをお勧めいたします。
- 会場内の呼び出しはいたしかねます。
- 会場内では携帯電話の電源を切るかマナーモードに切り替え、公演中または発表中の会場での使用はご遠慮ください。
- 会場内は禁煙とさせていただきます。
- 会場内での発言は、すべて座長の指示に従い、必ず所定の場所でマイクを用いて所属・氏名を述べてから簡潔に発言してください。
- 掲示・展示・印刷物の配布・ビデオ撮影などは会長の許可がない場合はご遠慮ください。

一般口講者の方へ

1. 発表時間

- 発表は8分(発表6分、討論2分)です。
- 座長の指示のもとに口演時間を厳守してください。
- 口演終了1分前に黄ランプ、終了は赤ランプでお知らせします。

2. 発表形式

- 発表はPCプレゼンテーションに限定します。
- 投影スクリーンは1面で、発表にはWindowsPCとプロジェクター1台を使用いたします。
※DVD、VTRや35mmスライドプロジェクター等のご用意はございません。
- 各会場に用意するPCのOSはWindows10となります。
※原則としてご発表の際は、会場のPCをご利用ください。
※Macintoshをご使用の方はご自身のパソコンをお持ちください。
- 発表データは以下の点をご確認のうえ、ご準備ください。

3. 発表データ

- 1) 発表データはPCデータのみの受付といたします。
 - 発表データは原則としてUSBフラッシュメモリーまたはCD-Rにてご用意ください。
 - データファイル名は「演題番号・演者氏名.ppt(pptx)」としてください。
例)82北九州太郎.ppt
 - 保存するメディアには発表に必要なデータのみとし、他のデータは保存しないでください。
 - メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、あらかじめ最新のウイルス駆除ソフトでチェックしてください。
 - 発表データ作成後、他のパソコンで正常に動作するかチェックしてください。
 - 受付時にコピーした発表データは、講演会終了後に事務局が削除いたします。

2) 発表に使用できるデータは PowerPoint 2007/2010/2013/2016/2019 で作成したものに限り
ます。

※PowerPoint の機能の中にある、「発表者ツール」を使用しての発表はできませんので、
作成の際はご注意ください。

使用するフォントは、Windows 10 に標準搭載されているフォントを推奨致します。

[日本語] MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝、メイリオ

[英 語] Times New Roman, Arial, Arial Black, Arial Narrow, Century,
Century Gothic, Courier New, Georgia

3) PowerPoint 上の動画は使用可能ですが、動画データは Windows 10 で標準状態の
Windows Media Player で再生できるファイルにて作成し、PowerPoint にリンクしてくだ
さい。

※事前に発表データを作成した PC とは別の PC で動作確認をお願いいたします。

※動画データは PowerPoint データとともに使用する動画ファイルを同一フォルダに整
理し、保存のうえ、ご持参ください。

※標準的な動画コーデック以外の動画ファイルの場合、再生に不具合を生じる場合が
ございます(動画再生に不安のある方は、ご自身の PC をご持参いただくことをお勧め
いたします)。

※Microsoft PowerPoint 2010 で、動画ファイルを埋め込み処理された場合は、別途その
ファイルもご持参いただくことをお勧めいたします。

4) 発表の際は、演者ご本人により PC の操作をお願いいたします。

※iPad を使用しての発表もできませんのでご注意ください。

5) ノートパソコンをお持ち込みの場合

- Macintosh を使用される方は、ご自身の PC をお持ちください。
- タブレット端子でのご発表はご遠慮ください。
- スクリーンセーバー、省電力設定をあらかじめ解除してください。
- AC アダプタは必ずご持参ください。
- 故障などの予期せぬトラブルに備え、バックアップデータをご持参ください。
- Macintosh や一部の Windows マシンでは変換コネクタが必要となりますので、必ずご
持参ください。
- 発表20分前までに、会場の左前方のオペレーター席に PC をお持ち込みください。講
演終了後、オペレーター席で PC を返却いたします。

4. PC データ受付

【受付場所】北九州国際会議場 1F

【受付時間】3月14日(土) 8:00~17:00

※発表予定時刻の40分前までに PC 受付にて試写確認を行い、データを提出してください。

※受付開始時は、各会場・第1セッションの演題を優先的に誘導させていただきます。

※午後の部の一般演題 PC データ受付は、なるべく 11 時以降にお願いいたします。

5. 注意事項

- 次演者の方は、前演者が登壇されたら、必ず「次演者席」にご着席ください。
- 不測の事態に備えて、USB フラッシュメモリまたは CD-R にてバックアップデータをご
持参されることをお勧めいたします。

一般口講座長へのお願い

1. 座長は担当セッション開始予定時間15分前までに「次座長席」に必ずご着席ください。特に受付はございません。
2. 各セッションの進行は座長に一任しますが、終了時間は厳守してください。

その他

1. 本学会九州支部会則に従い、優れた演題を発表した初期研修医、医学部学生、メディカルスタッフに対して育成賞を授与します。
2. 日本結核病学会会員で結核関連の発表をする場合、PC データ受付の際に、学会誌掲載用の抄録を CD-R で総合案内にてご提出ください。内容は演者名、共同演者名、所属、タイトル、抄録(200字)としてください。なお、ご提示いただいた CD-R は返却できかねますのでご了承ください。

3. 合同運営委員会・合同評議員会について

合同運営委員会

3月13日(金) 15:45～16:45 リーガロイヤルホテル小倉 4階 [梅]

合同評議員会

3月13日(金) 16:55～17:55 リーガロイヤルホテル小倉 3階 [オーキッド]

共同研究のお知らせ

3月13日(金) 17:55～18:15 リーガロイヤルホテル小倉 3階 [オーキッド]

4. 日本医師会認定産業医(認定産業医生涯研修)の単位取得を希望される方へ

※単位取得には、事前受付が必要です。詳細は、学会ホームページ(<https://jrsk84.secand.net/>)をご覧ください。

※受講される講習前までに、出席の確認をしますので、必ず受付にお立ち寄りください。

※認定産業医を取得された方の、更新のための研修です。新しく産業医の資格を取得するための研修ではありません。

九州支部次期および次々期学術講演会のお知らせ

- 第85回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会・
日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会 九州支部 秋季学術講演会
会 長：藤田 昌樹(福岡大学医学部 呼吸器内科学)
会 期：2020年10月30日(金)～31日(土)
会 場：福岡国際会議場
- 第86回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会 九州支部 春季学術講演会
会 長：石井 寛(福岡大学筑紫病院 呼吸器内科)
会 期：2021年3月13日(土)
会 場：電気ビルみらいホール

	A 会場 1F メインホール	B 会場 2F 国際会議室	C 会場 2F 21会議室	D 会場 1F 11会議室
8:30	8:30~8:35 開会式 8:35~9:20			
9:00	特別講演 1 肺線維症の診断治療を巡る最新情報： 早期病変と進行性線維化性フェノタイプ 座長：迎 寛 演者：井上 義一	8:45~9:25 肺腫瘍 1 座長：荒金 尚子	8:45~9:25 症例・診断 1 座長：川波 敏則	8:45~9:25 結核・抗酸菌症 1 座長：原永 修作
	9:20~10:05 特別講演 2 COPD の診断と治療～JRS ガイドライン第5版から3年目を迎えて 座長：井上 博雅 演者：黒澤 一	9:25~10:05 肺腫瘍 2 座長：岡本 勇	9:25~10:05 症例・診断 2 座長：坂本 憲穂	9:25~10:05 結核・抗酸菌症 2 座長：健山 正男
10:00	10:05~10:50 特別講演 3 肺胞蛋白症の病因解明から診断・治療法開発に至る道のり 座長：坂上 拓郎 演者：中田 光	10:05~10:45 呼吸器感染症 1 座長：松本 武格	10:05~10:45 薬剤性肺障害 1 座長：一安 秀範	10:05~10:45 膠原病関連肺疾患 座長：石井 寛
11:00	10:50~11:35 招請講演* 「今に残る石綿問題ー石綿問題が教えるもの」 Sociomedical lesson from asbestos issues 座長：森本 泰夫 演者：東 敏昭	10:45~11:33 呼吸器感染症 2 座長：平松 和史	10:45~11:25 薬剤性肺障害 2 座長：福島 千鶴	10:45~11:25 間質性肺疾患 座長：安東 優
12:00	11:50~12:40 ランチョンセミナー 1 座長：井上 博雅 演者：高橋 浩一郎 共催：グラクソ・スミスクライン(株)	11:50~12:40 ランチョンセミナー 2 座長：高田 昇平 演者：岡元 昌樹 共催：日本ベーリンガー インゲルハイム(株)	11:50~12:40 ランチョンセミナー 3 座長：中西 洋一 演者：三浦 理	共催： 小野薬品工業(株) / プリストル・マイヤーズ スクイブ(株)
13:00	12:50~14:20 シンポジウム 細菌性呼吸感染症の進歩と課題 座長：門田 淳一 藤田 昌樹 演者：坂上 拓郎 山本 和子 濱田 洋平 小宮 幸作	12:50~13:30 肺腫瘍 3 座長：海老 規之	12:50~13:30 症例・診断 3 座長：水野 圭子	12:50~13:30 喘息・COPD 1 座長：松元 幸一郎
14:00		13:30~14:10 肺腫瘍 4 座長：福田 実	13:30~14:10 症例・診断 4 座長：松元 信弘	13:30~14:10 喘息・COPD 2 座長：尾長谷 靖
15:00	14:30~15:20 アフタヌーンセミナー 1 座長：矢寺 和博 演者：藤田 次郎 共催：MSD(株)	14:30~15:20 アフタヌーンセミナー 2 座長：原田 大志 演者：田中 文啓 共催：日本イーライリリー(株)		
16:00	15:30~16:15 教育講演 1** 産業医が知っておくべき最近の法改正と 職場の喫煙・受動喫煙対策 座長：永田 忍彦 演者：大和 浩	15:30~16:00 教育講演 3 座長：岡元 昌樹 演者：泉川 公一	15:30~16:10 症例・診断 5 座長：日高 孝子	15:30~16:10 結核・抗酸菌症 3 座長：田尾 義昭
	16:15~17:00 教育講演 2** 治療と仕事の両立支援に関する最近の動向～厚生 労働省ガイドラインの要点と主治医・企業の連携～ 座長：石松 祐二 演者：立石 清一郎	16:00~16:30 教育講演 4 座長：津田 徹 演者：矢寺 和博	16:10~16:50 症例・診断 6 座長：川山 智隆	16:10~16:50 研究 座長：福山 聡
17:00	17:00~17:30 男女共同参画セッション 座長：吉井 千春 演者：川波 由紀子	16:30~17:10 呼吸器感染症 3 座長：富永 正樹	16:50~17:20 教育講演 5 座長：矢寺 和博 演者：齋藤 光正	コロナウイルスの 微生物学的知識
	17:30~17:35 閉会式	医師の働き方改革と、 一呼吸器内科夫婦の現実 ーダブルケアの経験を通じてー	これからの呼吸器感染症学	

* 日本医師会 認定産業医 生涯研修 専門 0.5単位

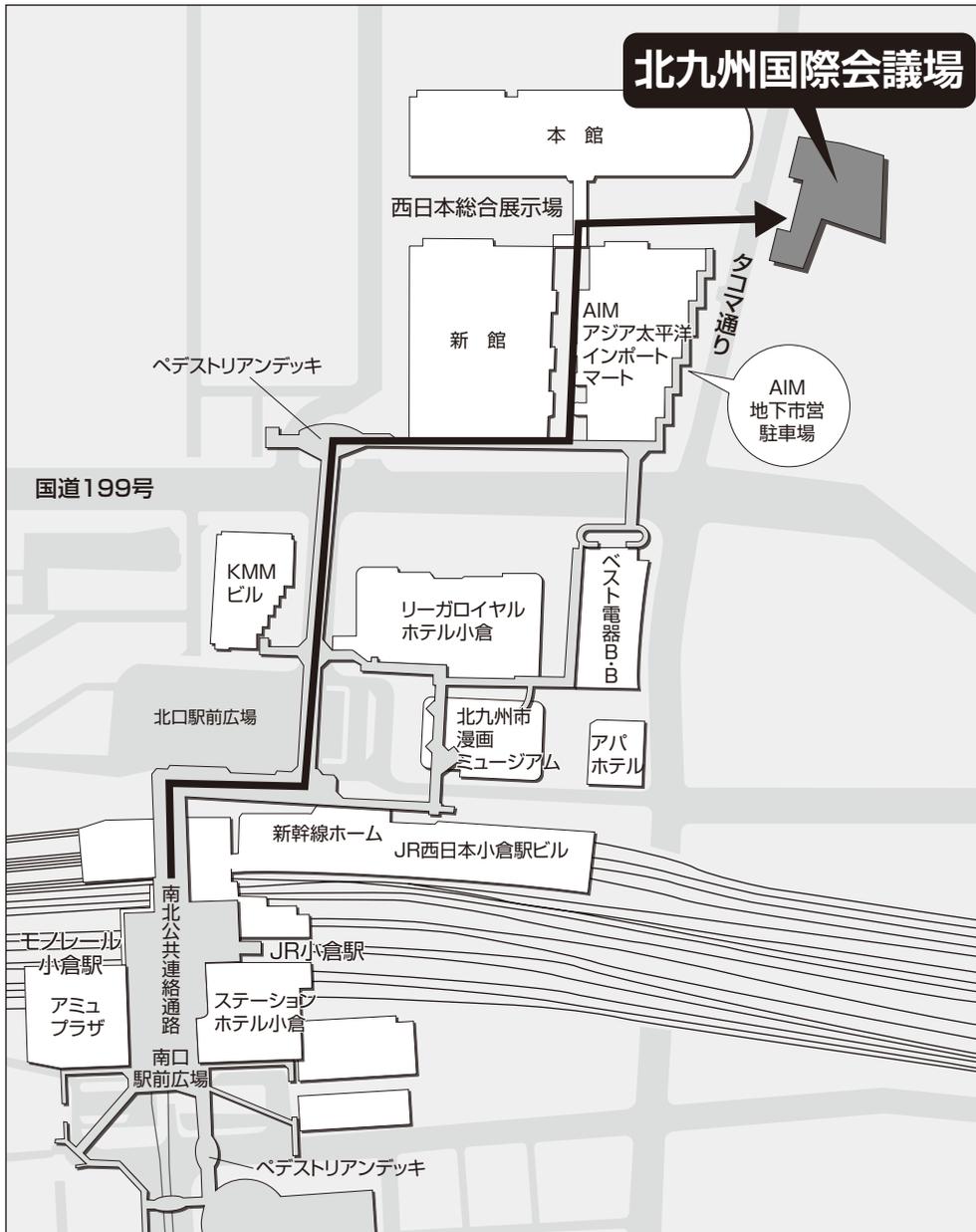
** 日本医師会 認定産業医 生涯研修 更新 0.5単位

座長一覽

3月14日(土)

会場	時間	session	座長	演題番号
A会場	8:35~9:20	特別講演1	迎 寛	
	9:20~10:05	特別講演2	井上 博雅	
	10:05~10:50	特別講演3	坂上 拓郎	
	10:50~11:35	招請講演	森本 泰夫	
	11:50~12:40	ランチョンセミナー1	井上 博雅	
	12:50~14:20	シンポジウム	門田 淳一 藤田 昌樹	
	14:30~15:20	アフタヌーンセミナー1	矢寺 和博	
	15:30~16:15	教育講演1	永田 忍彦	
	16:15~17:00	教育講演2	石松 祐二	
	17:00~17:30	男女共同参画セッション	吉井 千春	
B会場	8:45~9:25	肺腫瘍1	荒金 尚子	001~005
	9:25~10:05	肺腫瘍2	岡本 勇	006~010
	10:05~10:45	呼吸器感染症1	松本 武格	011~015
	10:45~11:33	呼吸器感染症2	平松 和史	016~021
	11:50~12:40	ランチョンセミナー2	高田 昇平	
	12:50~13:30	肺腫瘍3	海老 規之	022~026
	13:30~14:10	肺腫瘍4	福田 実	027~031
	14:30~15:20	アフタヌーンセミナー2	原田 大志	
	15:30~16:00	教育講演3	岡元 昌樹	
	16:00~16:30	教育講演4	津田 徹	
	16:30~17:10	呼吸器感染症3	富永 正樹	032~036
	C会場	8:45~9:25	症例・診断1	川波 敏則
9:25~10:05		症例・診断2	坂本 憲穂	042~046
10:05~10:45		薬剤性肺障害1	一安 秀範	047~051
10:45~11:25		薬剤性肺障害2	福島 千鶴	052~056
11:50~12:40		ランチョンセミナー3	中西 洋一	
12:50~13:30		症例・診断3	水野 圭子	057~061
13:30~14:10		症例・診断4	松元 信弘	062~066
15:30~16:10		症例・診断5	日高 孝子	067~071
16:10~16:50		症例・診断6	川山 智隆	072~076
16:50~17:20		教育講演5	矢寺 和博	
D会場	8:45~9:25	結核・抗酸菌症1	原永 修作	077~081
	9:25~10:05	結核・抗酸菌症2	健山 正男	082~086
	10:05~10:45	膠原病関連肺疾患	石井 寛	087~091
	10:45~11:25	間質性肺疾患	安東 優	092~096
	12:50~13:30	喘息・COPD1	松元幸一郎	097~101
	13:30~14:10	喘息・COPD2	尾長谷 靖	102~106
	15:30~16:10	結核・抗酸菌症3	田尾 義昭	107~111
	16:10~16:50	研究	福山 聡	112~116

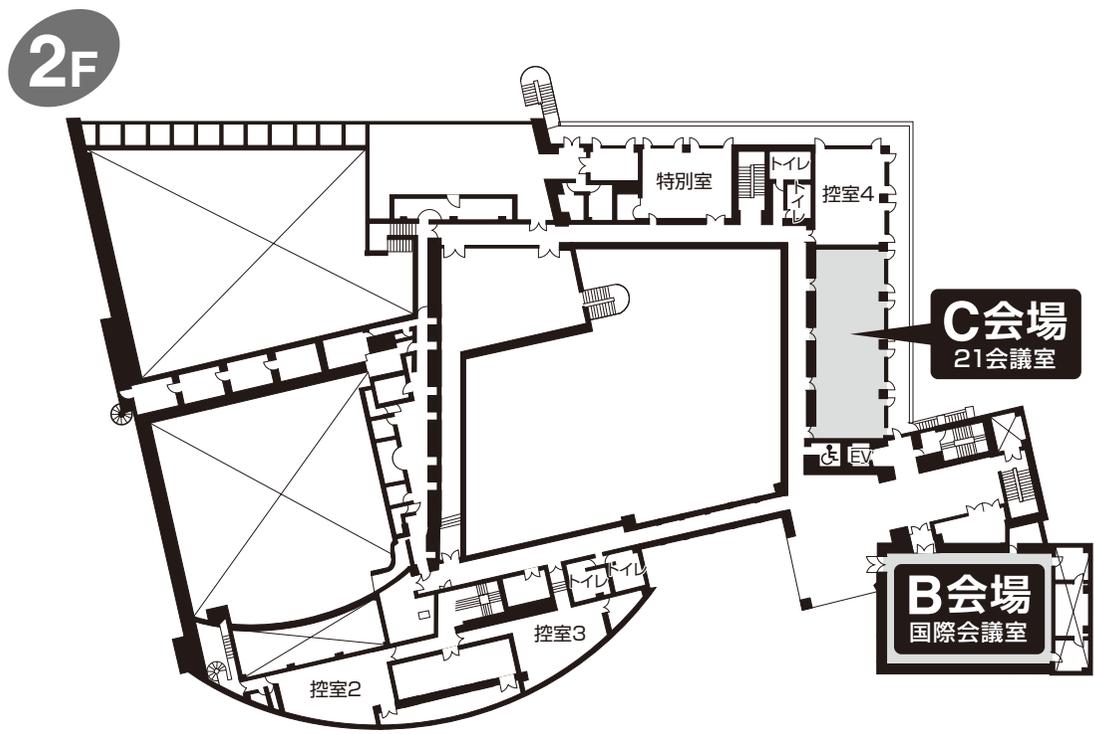
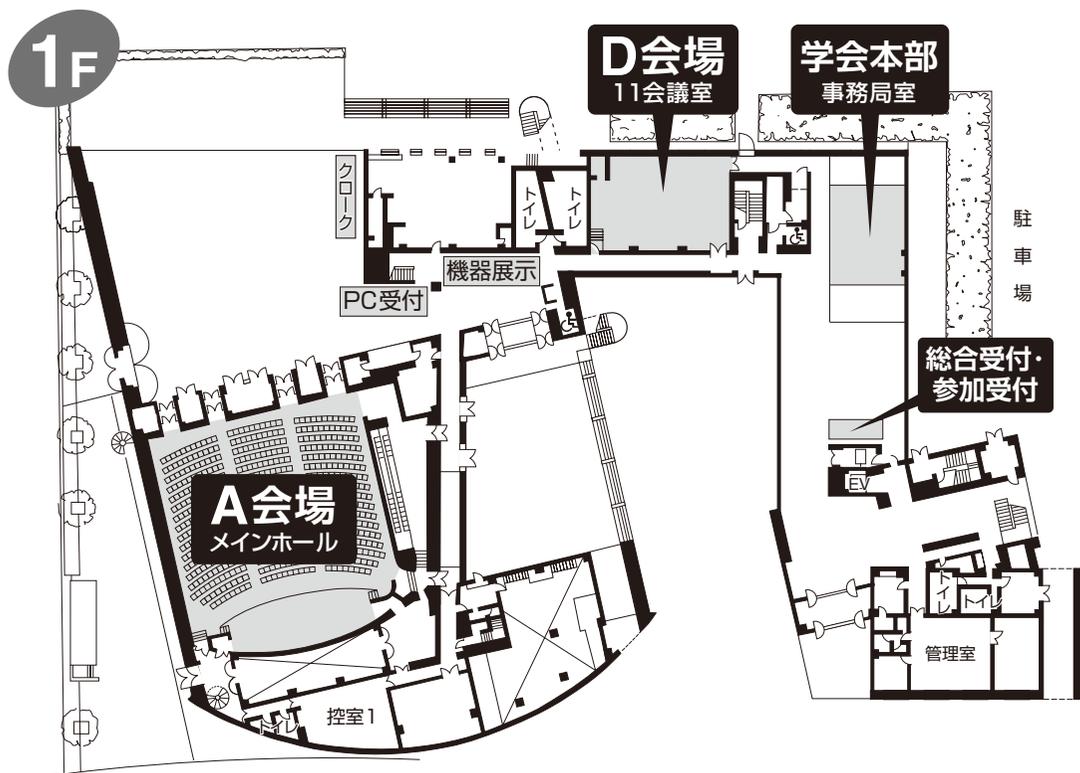
会場アクセス



会場へのアクセス

- 都市高速 [小倉駅北口ランプ] より約8分
- JR小倉駅よりタクシー 3分
- 各地より高速バス利用、小倉駅下車
- 徒歩の場合、小倉駅 2F 北口 [ペDESTリアンデッキ] をご利用されると便利です。

会場案内図



主要プログラム

3月14日(土)

8:35～9:20

特別講演1

A会場(1F メインホール)

座長：迎 寛(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 呼吸器内科学分野(第二内科))

肺線維症の診断治療を巡る最新情報： 早期病変と進行性線維化性フェノタイプ

井上 義一 国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 臨床研究センター

9:20～10:05

特別講演2

A会場(1F メインホール)

座長：井上 博雅(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器内科学)

COPD の診断と治療 ～ JRS ガイドライン第5版から3年目を迎えて

黒澤 一 東北大学大学院 医学系研究科 産業医学分野

10:05～10:50

特別講演3

A会場(1F メインホール)

座長：坂上 拓郎(熊本大学大学院生命科学研究部 呼吸器内科学講座)

肺胞蛋白症の病因解明から診断・治療法開発に至る道のり

中田 光 新潟大学 医歯学総合病院 臨床研究推進センター

10:50～11:35

招請講演

A会場(1F メインホール)

座長：森本 泰夫(産業医科大学 産業生態科学研究所 呼吸病態学)

今に残る石綿問題 ー石綿問題が教えるもの Sociomedical lesson from asbestos issues

東 敏昭 産業医科大学

11:50～12:40 **ランチョンセミナー1**

A会場(1F メインホール)

座長：井上 博雅(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器内科学)

COPD 診療の新展開 ～ triple 治療を日常診療の味方にする～

高橋 浩一郎 佐賀大学医学部附属病院 呼吸器内科 講師

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

11:50～12:40 **ランチョンセミナー2**

B会場(2F 国際会議室)

座長：高田 昇平(独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター 呼吸器内科)

強皮症合併間質性肺疾患の新たな治療戦略

岡元 昌樹 独立行政法人国立病院機構 九州医療センター 呼吸器内科部長
久留米大学医学部 呼吸器・神経・膠原病内科 准教授

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

11:50～12:40 **ランチョンセミナー3**

C会場(2F 21会議室)

座長：中西 洋一(地方独立行政法人北九州市立病院機構)

免疫チェックポイント阻害剤治療の理想と現実 ～すべてがガイドライン通りにいくとは限らない～

三浦 理 新潟県立がんセンター新潟病院 内科 内科部長

共催：小野薬品工業株式会社 / ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社

座長：門田 淳一(大分大学医学部 呼吸器・感染症内科学講座)
藤田 昌樹(福岡大学医学部 呼吸器内科学)

[細菌性呼吸感染症の進歩と課題]

S-1 非結核性抗酸菌症の疾患感受性

熊本大学大学院生命科学研究部 呼吸器内科学講座 坂上 拓郎

S-2 肺炎球菌感染症

長崎大学病院 感染制御教育センター 山本 和子

S-3 耐性菌感染症

佐賀大学 医学部 附属病院 感染制御部 濱田 洋平

S-4 肺結核

大分大学 医学部 呼吸器・感染症内科学講座 小宮 幸作

座長：矢寺 和博(産業医科大学医学部 呼吸器内科学)

耐性菌を考慮した肺炎診療の在り方

藤田 次郎 琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座 教授

共催：MSD 株式会社

座長：原田 大志(独立行政法人 地域医療機能推進機構 九州病院 呼吸器内科)

進行非小細胞肺癌の治療を考える

田中 文啓 産業医科大学 第2外科 教授

共催：日本イーライリリー株式会社

15:30～16:15 **教育講演1**

A会場(1F メインホール)

座長：永田 忍彦(福岡大学筑紫病院 呼吸器内科)

産業医が知っておくべき最近の法改正と職場の喫煙・受動喫煙対策

大和 浩 産業医科大学 産業生態科学研究所 健康開発科学研究室

16:15～17:00 **教育講演2**

A会場(1F メインホール)

座長：石松 祐二(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 看護学分野)

治療と仕事の両立支援に関する最近の動向 ～厚生労働省ガイドラインの要点と主治医・企業の連携～

立石 清一郎 産業医科大学病院 両立支援科

15:30～16:00 **教育講演3**

B会場(2F 国際会議室)

座長：岡元 昌樹(国立病院機構九州医療センター 呼吸器内科/久留米大学医学部 呼吸器・神経・膠原病内科)

韓国における加湿器殺菌剤による肺傷害

金 良昊 蔚山大学 医学部 蔚山大学病院 職業環境医学教室

COVID-19に関する最新知見

泉川 公一 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 臨床感染症学分野
長崎大学病院 感染制御教育センター

16:00～16:30 **教育講演4**

B会場(2F 国際会議室)

座長：津田 徹(医療法人社団恵友会 霧ヶ丘つだ病院)

これからの呼吸器感染症学

矢寺 和博 産業医科大学 医学部 呼吸器内科学

座長：矢寺 和博(産業医科大学 医学部 呼吸器内科学)

コロナウイルスの微生物学的知識

齋藤 光正 産業医科大学 医学部 微生物学

座長：吉井 千春(産業医科大学若松病院 呼吸器内科)

医師の働き方改革と、一呼吸器内科夫婦の現実 —ダブルケアの経験を通じて—

川波 由紀子 国立病院機構 小倉医療センター 呼吸器内科

一般演題プログラム

3月14日(土)

8:45~9:25

肺腫瘍 1

B会場(2F 国際会議室)

座長：荒金 尚子(佐賀大学医学部附属病院 呼吸器内科)

- 001** ペンブロリズマブが著効した
上大静脈症候群合併 PS 不良高齢肺扁平上皮癌の一例
熊本地域医療センター 呼吸器内科 柏原 光介
- 002** ペンブロリズマブ投与後免疫関連有害事象で
全身性エリテマトーデス・抗リン脂質抗体症候群を発症した症例
佐賀大学 医学部 卒後臨床研修センター 馬場 裕太
- 003** 放射線療法単独で寛解を得た気管原発扁平上皮内癌の一例
北九州総合病院 呼吸器内科 東 泰幸
- 004** 超音波気管支鏡ガイド下針生検で膿性液が採取された扁平上皮癌の一例
国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 呼吸器内科 東 和樹
- 005** 非結核性抗酸菌症 (NTM) の治療中に診断された原発性肺癌の 1 例
産業医科大学若松病院 呼吸器内科 鳥井 亮

9:25~10:05

肺腫瘍 2

B会場(2F 国際会議室)

座長：岡本 勇(九州大学病院 呼吸器科)

- 006** BRAF V600E 変異陽性肺腺癌に対し、分子標的薬が奏功した一例
宮崎大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター 田平 康晴
- 007** 二次性免疫性血小板減少症を合併した小細胞肺癌の 1 例
地域医療機能推進機構 諫早総合病院 鶴川晃二郎
- 008** IgG4 関連肺疾患の治療中に発症した原発性肺腺癌の一例
久留米大学病院 初期研修医 東 大樹
- 009** 異所性 ACTH 産生小細胞肺癌の 1 例
飯塚病院 石橋 大樹
- 010** 末期腎不全患者で免疫チェックポイント阻害剤使用し
pseudo progression を来した 2 例
豊見城中央病院/琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座 喜友名 朋

座長：松本 武格(福岡大学病院 呼吸器内科)

- 011** 急性 A 型大動脈解離術後に発症した急性粟粒結核と自己免疫性溶血性貧血(AIHA)の1例
小倉記念病院 呼吸器内科 三角 将輝
- 012** 多発結節・腫瘤影を呈したレジオネラ肺炎の1例
済生会飯塚嘉穂病院 工藤 国弘
- 013** 空洞を呈したサイトメガロウイルス肺炎の1例
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器内科学 別府 史朗
- 014** 特発性肺線維症の治療経過にアスペルギルス膿胸を合併した1例
鹿児島大学医歯学総合研究科 呼吸器内科学 吉嶺光太郎
- 015** 免疫不全患者に発症したクリプトコックス脳室炎の1例
長崎みなとメディカルセンター 呼吸器内科 長澤 佳穂

座長：平松 和史(大分大学医学部 医療安全管理医学講座)

- 016** 市中で発症した *Aspergillus niger* による侵襲性肺アスペルギルス症の1例
熊本大学病院 呼吸器内科 内藤 大貴
- 017** 胸腔鏡で胸膜結節を観察し得たウエステルマン肺吸虫症の1例
九州大学大学院 医学研究院附属胸部疾患研究施設／九州大学病院 臨床教育研修センター 守谷聡一朗
- 018** 治療導入翌日からの Voriconazole 血中濃度測定が有用であった慢性進行性肺アスペルギルス症の一例
熊本大学病院 総合臨床研修センター 町田 紘子
- 019** 肺炎球菌肺炎治癒後数年後に肺アスペルギルス症を併発した症例
一般社団法人 巨樹の会 新武雄病院 呼吸器内科 池上 智美
- 020** 肺胞出血を呈した軽症インフルエンザ感染症の1例
豊見城中央病院 呼吸器内科 知花 凜
- 021** 非典型的な画像所見を呈した肺クリプトコックス症の一例
産業医科大学病院／山口県済生会下関総合病院 平野 洋子

座長：海老 規之(飯塚病院 呼吸器腫瘍内科)

- 022** T790M 耐性変異と扁平上皮癌転化を併発し Erlotinib 耐性となった EGFR 陽性肺腺癌の1例
福岡大学病院 呼吸器内科 中尾 明
- 023** 当科における非小細胞肺癌に対する Docetaxel+Ramucirumab 療法時の G-CSF 一次予防的投与の検討
九州大学病院 呼吸器科 坂本 藍子
- 024** EGFR-TKI のみで治療し、5年以上の長期生存を得られた IV期 EGFR 陽性肺腺癌の1例
産業医科大学若松病院 呼吸器内科 畑 亮輔
- 025** 術前ダイナミック4D-CT が腫瘍の大動脈浸潤評価に有用であった左下葉
産業医科大学医学部 第2外科 眞鍋 克彦
- 026** 化学放射線療法で治療を開始したⅢ期腸型肺腺癌の1例
琉球大学医学部附属病院 総合臨床研修・教育センター 國吉 健太

座長：福田 実(長崎大学病院 がん診療センター)

- 027** 当院におけるⅢ期非小細胞肺癌に対する化学放射線療法後の Durvalumab 療法の安全性についての検討
独立行政法人 地域医療機能推進機構 九州病院 内科 指宿 立
- 028** 術前放射線化学療法を施行した cN2 非扁平上皮癌に対して スリーブ上葉切除を施行した一例
産業医科大学 第2外科 苗代 絢子
- 029** 術前の超音波気管支鏡ガイド下針生検が診断の一助となった 中縦隔原発神経鞘腫の1例
大分県立病院 呼吸器内科 平田 健悟
- 030** びまん性に網状影と浸潤影を呈した ALK 融合遺伝子肺癌の一例
久留米大学医学部内科学講座 呼吸器・神経・膠原病内科部門 渡邊 真之
- 031** 癌性心膜炎を発症した EGFR 変異陽性肺腺癌の2例
宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野 北村 彩

座長：富永 正樹(久留米大学医学部 呼吸器・神経・膠原病内科)

- 032** オレンジ色の粘稠痰が診断の契機となった
Legionella longbeachae 肺炎の1例
北部地区医師会病院 呼吸器・感染症科 名嘉眞智樹
- 033** 細菌叢解析法を用いた細菌性胸膜炎における培養陰性症例の原因菌の検討
医和基会 戸畑総合病院 内科 野口 真吾
- 034** 難治性肺膿瘍に対して経気管支的ドレナージを試みた症例
琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座(第一内科) 日暮 悠璃
- 035** 肺切除困難な左肺アスペルギローマに対し左開窓術を行った1症例
産業医科大学 第二外科 小山倫太郎
- 036** 多発肺結節影を契機に診断された回虫類による内臓幼虫移行症の1例
宮崎大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター 徳永 成将

座長：川波 敏則(産業医科大学 呼吸器内科学)

- 037** 粟粒結核様の陰影を呈した播種性カンジダ症の1例
福岡大学筑紫病院 呼吸器内科 竹田 悟志
- 038** SpO₂低値を契機に診断された Hb Iwata による異常ヘモグロビン症の一例
熊本大学病院 呼吸器内科 田嶋 祐香
- 039** 肺癌・多発肺内転移と鑑別が困難だった敗血症性肺塞栓症の1例
長崎県島原病院 呼吸器内科 赤城 和優
- 040** TNF α 阻害剤投与下に増大したリウマチ結節の1例
北九州総合病院 総合内科 森本 俊規
- 041** 浴槽マイクロバブルバス設置後に過敏性肺臓炎を発症した夫婦例
熊本大学大学院 呼吸器内科 今井 美友

座長：坂本 憲穂(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科)

- 042** 先天性 $\alpha 2$ プラスミンインヒビター欠損症に併発した
若年女性閉塞性肺疾患の一例検例
総合病院鹿児島生協病院 呼吸器内科 平元 良英
- 043** 非喫煙女性に発症した肺ランゲルハンス細胞組織球症の1例
熊本大学病院 呼吸器内科 宮崎 蒼
- 044** 輸血後関連急性肺障害をきたした透析患者の一例
長崎大学病院 呼吸器内科 鳥羽 萌
- 045** 結節性硬化症に伴う小結節性肺胞上皮細胞過形成の経過観察中に
巨大ブラが生じた1例
独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 呼吸器内科 清水ゆかり
- 046** 特発性器質化肺炎との鑑別を要した肺クリプトコッカス症の1例
独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 呼吸器内科 川口 紘矢

座長：一安 秀範(熊本大学大学院生命科学研究部 呼吸器内科学)

- 047** 当院における免疫チェックポイント阻害薬管理委員会の取り組みについて
産業医科大学 医学部 呼吸器内科学 田原 正浩
- 048** TS-1内服中に薬剤性間質性肺炎を来した一例
長崎大学病院 呼吸器内科 松田 諒
- 049** ペムブロリズマブによる薬剤性腸炎、原発性副腎機能低下症、
薬剤性間質性肺炎を発症した1例
鹿児島市立病院 丸谷健太郎
- 050** TNF- α 阻害薬による薬剤誘発性 Bronchocentric granulomatosis を
来した一症例
長崎大学病院 第二内科 永江 由香
- 051** 免疫チェックポイント阻害薬使用中に好酸球性肺炎を発症した1例
産業医科大学 呼吸器内科学 原 可奈子

座長：福島 千鶴(長崎大学病院 臨床研究センター)

- 052** 当院におけるオシメルチニブによる間質性肺疾患(ILD)症例の検討
熊本中央病院 呼吸器内科 稲葉 恵
- 053** ペムブロリズマブ/プラチナ併用療法後に多彩な免疫学的有害事象を来した一例
長崎大学病院 呼吸器内科 本田 徳鷹
- 054** ダニ刺傷の治療中に呼吸不全を発症し、ミノサイクリン(MINO)による薬剤性肺障害と診断した1例
社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院 米原 有希
- 055** 免疫抑制薬関連リンパ増殖性肺疾患の1例
独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター 呼吸器内科 松岡多香子
- 056** pembrolizumab 誘導性びまん性肺胞障害の一部検例
国立病院機構 九州医療センター 岸田 峻

座長：水野 圭子(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器内科学)

- 057** 特発性肺ヘモジデローシスの再燃が疑われた1例
長崎大学病院 医療教育開発センター 内海 李香
- 058** Multiplex PCR (Film Array[®])が診断に寄与した健常男性に発症した原発性インフルエンザウイルス肺炎の一例
公立学校教職員共済組合 九州中央病院 貝通丸雅士
- 059** 喘鳴・労作時呼吸困難を呈し診断に苦慮した特発性気管狭窄症の1例
福岡大学筑紫病院 呼吸器内科 上田 裕介
- 060** 動眼神経麻痺を認め、ステロイドで改善したサルコイドーシスの一例
独立行政法人国立病院機構 福岡病院 櫻井 優子
- 061** 病歴から過敏性肺炎が疑われたが気管支肺胞洗浄(BAL)にて成人T細胞白血病/リンパ腫の肺浸潤と診断した1例
北部地区医師会病院 呼吸器・感染症科/
琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学 兼久 梢

座長：松元 信弘(宮崎大学医学部 内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野)

- 062** tracheopathia chondroplastica の一例
福岡大学病院 池田 貴登
- 063** 関節リウマチと MAC 症の経過中に発症した MALT リンパ腫の1例
国立病院機構熊本再春医療センター 呼吸器内科 坂本 理
- 064** 防水スプレーの吸入により diffuse alveolar damage (DAD) を呈した急性肺障害の1剖検例
産業医科大学病院 医学部 呼吸器内科学 中村 圭
- 065** ペムブロリズマブ投与後に免疫関連有害事象と考えられる胃粘膜障害を認めた一例
福岡東医療センター 呼吸器内科 木村 信一
- 066** A 型インフルエンザ感染後の器質化肺炎と考えられた1例
福岡大学 西新病院 和田 健司

座長：日高 孝子(国立病院機構 小倉医療センター 呼吸器内科)

- 067** 防水スプレーの吸入により急性 I 型呼吸不全を発症した一例
社会医療法人青洲会 福岡青洲会病院 呼吸器内科 森内 祐樹
- 068** Birt-Hogg-Dube (BHD) 症候群の1例
福岡大学病院 呼吸器内科 吉田 祐士
- 069** 多発性内分泌腺腫 I 型 (MEN1) 合併胸腺カルチノイドの1例
長崎大学病院 呼吸器内科 千住 博明
- 070** 農業用の鉋さい質肥料(ケイ酸苦土石灰)との関連が疑われた塵肺の一例
大分大学 医学部 呼吸器・感染症内科学講座 山末 まり
- 071** 微小乳頭型尿路上皮癌による PTTM の一例
独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院 総合診療部 北園 貴史

座長：川山 智隆(久留米大学医学部内科学講座 呼吸器・神経・膠原病内科部門)

- 072** 低用量吸入ステロイドのみでコントロール良好な喘息患者に発症した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の一例
宮崎大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター／
宮崎大学医学部 内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野 大楠 桃子
- 073** 気管支浸潤を認め、経気管支生検で診断した肺 MALToma の1例
独立行政法人 地域医療機能推進機構 九州病院 島内 淳志
- 074** 肺炎像を機に発見され、気管・気管支・肺病変を合併した慢性リンパ球性白血病 / 小リンパ球性リンパ腫の一例
国立病院機構 小倉医療センター 呼吸器内科 日高 孝子
- 075** 2型呼吸不全の原因診断に難渋した ALS の一例
大分大学 医学部 呼吸器・感染症内科学講座 長岡 雄平
- 076** 再燃の度に画像所見が変化し診断が困難であった医原性免疫不全関連リンパ増殖性疾患
大分大学 医学部 呼吸器・感染症内科学講座 松本 祐二

座長：原永 修作(琉球大学医学部附属病院 総合臨床研修・教育センター)

- 077** 肺尖部肺癌と鑑別を要した非定型抗酸菌症の1切除例
日本赤十字社 長崎原爆病院 呼吸器外科 佐野 功
- 078** 粟粒結核における脳結核の併発頻度及び併発要因に関する臨床的検討
NHO 大牟田病院 若松謙太郎
- 079** 肺癌術後の経過観察中に発症した *Mycobacterium shimoidei* による肺非結核性抗酸菌症の一例
産業医科大学 医学部 呼吸器内科学 池上 博昭
- 080** Pembrolizumab 投与後に肺結核、結核性胸膜炎を発症した一例
国立病院機構 福岡東医療センター 呼吸器内科 迫田宗一郎
- 081** 水腎症を契機に診断された尿路結核の1例
北九州市立八幡病院 森 雄亮

座長：健山 正男(琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座)

- 082** 肺クリプトコッカス症の再増悪と鑑別を要した粟粒結核の一例
独立行政法人国立病院機構 熊本南病院 鈴木 智子
- 083** 当院における外国出生結核患者の現状
国立病院機構 南九州病院 呼吸器科 濱田美奈子
- 084** 薬剤性 QT 延長を来した多剤耐性結核の一例
長崎大学病院 呼吸器内科 村田麻耶子
- 085** 外国人技能実習生の結核性脳炎の一例
国立病院機構 宮崎東病院 呼吸器内科 佐野ありさ
- 086** 転移性脊椎腫瘍との鑑別が困難であった結核性脊椎炎の1例
社会医療法人天神会 古賀病院21 高倉 孝二

座長：石井 寛(福岡大学筑紫病院 呼吸器内科)

- 087** 経過中に強皮症、肺高血圧症が合併した
抗セントロメア抗体陽性原発性シェーグレン症候群の一例
国立病院機構九州医療センター呼吸器内科 臨床研究センター 京野 真理
- 088** MPO-ANCA および抗 GBM 抗体がともに陽性で肺胞出血と
急速進行性糸球体腎炎を呈した1例
みなとメディカルセンター 呼吸器内科 森尾 瞭介
- 089** メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患(MTX-LPD)を合併した
関節リウマチ患者4例の検討
熊本地域医療センター 坂本一比古
- 090** 当科における関節リウマチ関連間質性肺炎症例の検討
飯塚病院 呼吸器病センター 呼吸器内科 末安 巧人
- 091** 局所麻酔下胸腔鏡による胸膜生検が診断・治療方針決定に寄与した
全身性エリテマトーデスの1例
北九州総合病院 総合内科 森本 俊規

座長：安東 優(大分大学医学部 呼吸器・感染症内科)

- 092** 2年の経過で呼吸不全の進行を認め、剖検にて粉塵暴露との関連が疑われた上葉優位型肺線維症(PPFE)の一例
琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座(第一内科) 宮良 安宣
- 093** 長崎大学病院における脳死肺移植レシピエント登録時期の検討
長崎大学病院 呼吸器内科 石本 裕士
- 094** 冬季に発症した夏型過敏性肺炎の2例
豊見城中央病院 大城 俊貴
- 095** 最終診断に難渋した間質性肺炎の1例
独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院 総合診療部 平畑実乃理
- 096** 早期特発性肺線維症患者に対するニンテダニブ投与の安全性と忍容性に関する解析
長崎大学病院 呼吸器内科 坂本 憲穂

座長：松元 幸一郎(九州大学 呼吸器内科学)

- 097** 当科における難治性喘息に対するデュピルマブ使用例の検討
産業医科大学呼吸器内科 川端 宏樹
- 098** 慢性閉塞性肺疾患患者における呼吸リハビリテーション後の身体活動量と酸化ストレスの関連
産業医科大学若松病院 リハビリテーション部/産業医科大学病院 呼吸器内科 樋口 周人
- 099** COPD患者の運動能力評価における酸素摂取動態解析の有用性—6分間歩行試験(6MWT)との比較—
社会医療法人 三愛会 三愛呼吸器クリニック リハビリテーション科 森永 将正
- 100** 長崎大学タバコフリーキャンパス化における学生教育と禁煙外来の取り組み
長崎大学 保健・医療推進センター 河野 哲也
- 101** 当院におけるAsthma and COPD Overlap(ACO)の現状
産業医科大学 医学部 呼吸器内科学 山崎 啓

座長：尾長谷 靖(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 呼吸器内科学)

- 102** 福岡県における喫煙関連呼吸器難病に対する前向きコホート研究：
福岡肺の生活習慣病研究
国立病院機構大牟田病院 呼吸器内科 伊勢 信治
- 103** 肥満喘息に関する臨床的解析
佐賀大学医学部附属病院 内科学講座 血液・呼吸器・腫瘍内科 田代 宏樹
- 104** アレルギー性気管支肺真菌症の早期像が疑われた一例
佐賀大学医学部 内科学講座 血液・呼吸器・腫瘍内科 栗原 有紀
- 105** 呼吸器疾患患者における Bendopnea
医療法人恵友会 霧ヶ丘つた病院 森 駿一朗
- 106** 慢性閉塞性肺疾患患者の運動継続は、酸化ストレスを軽減させる
産業医科大学若松病院 中元 洋子

座長：田尾 義昭(独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター 呼吸器内科)

- 107** ベダキリン、デラマニドを併用した pre-XDR の外国人3症例
国立病院機構 福岡東医療センター 中川 泰輔
- 108** Mycobacterium abscessus 術後膿胸に対して気道充填術が奏功した一例
国立病院機構 福岡東医療センター 岡部百合菜
- 109** 当院における肺 M. abscessus 症4例の臨床的検討
佐世保市総合医療センター 呼吸器内科 池見 悠太
- 110** 結核治療中に経管栄養を開始した症例の検討
国立病院機構 沖縄病院 呼吸器内科 大湾 勤子
- 111** 抗 TNF α 療法に関連する免疫再構築症候群が疑われた肺 MAC 症の1例
沖縄県立中部病院 呼吸器内科 鍋谷大二郎

座長：福山 聡(九州大学病院 呼吸器科)

- 112** 終夜ポリソムノグラフ検査時の経皮的二酸化炭素モニタリングの有用性についての検討
独立行政法人 地域医療機能推進機構 佐賀中部病院 門司 恵
- 113** 当院における高齢者自然気胸の検討
麻生飯塚病院 呼吸器内科 西澤 早織
- 114** REM期優位 OSA 患者における CPAP 導入後半年間のアドヒアランス検討
霧ヶ丘つだ病院 石山 義浩
- 115** 有機高分子化合物の肺への有害性評価
産業医科大学 医学部 呼吸器内科学 西田 千夏
- 116** PI3K δ 阻害剤はヒト気道上皮細胞において poly I : C 刺激が惹起する抗ウイルス免疫応答を増強する
九州大学大学院医学研究院附属 胸部疾患研究施設 / 九州大学病院 光学医療診療部 神尾 敬子

招 請 講 演

今に残る石綿問題 一石綿問題が教えるもの Sociomedical lesson from asbestos issues

東 敏昭

産業医科大学

石綿と疾患に関わる歴史は、教訓に満ちている。日本では20世紀以降、石綿の使用が軍需から建材、紡織品、摩擦材など多様な製品に広がり、輸入量からみた使用のピークは1974年の35万2千トンで減少傾向に転じるとみられたが、新建材需要、バブル経済が重なり1990年も32万トンの輸入があり、その後急速に減少している。健康問題の顕在化から、欧米先進国では1970年代から使用量は減少に転じていたが、わが国ではそれに比べ使用の制限、禁止は遅れることになった。石綿関連疾患の発症については、曝露開始からの潜伏期間が長く、特に中皮腫では曝露された線維の種類、曝露量などにもよるが、40年を超える潜伏期間が多い。また、肺癌では、その発症率に石綿曝露と喫煙が近相乗的作用を有することが疫学的研究から示されている。

石綿を吸入した場合の有害性については1930年代から、発がん性については1950年代から報告があったが、1960年代以降、多くの研究が報告され、20世紀末までには有害物質に関わる論文数では最多となったとされる。天然鉱物繊維の生体影響のメカニズム、壁側胸膜原発の中皮腫発症がなぜ起こりうるのか、線維の種類による発がん性の強さの異なる要因、中皮腫の種類、診断手法、早期発見、治療法の開発など多方面の研究を含む。

現在までに知られた知見の概要の整理と共に、使用禁止となり、石綿繊維や実際の製品を目にすることが少なくなった石綿、石綿含有製品とはどのようなものか、石綿の産出ならびに製品製造、加工、使用など職業的曝露に関わる産業について概説する。また、代替化の流れや問題点を含めて解説する。また、使用した繊維の種類や曝露状況による差異はあるものの、前述のように極めて長い潜伏期間を有することから、今まさに中皮腫、石綿関連肺癌の発症のピークとなっているとの予測がある。呼吸器疾患を診る医師にとっては、むしろ今こそ重要な疾患ともいえる。

労災疾病としての件数、労災保障額では、石綿関連疾患は脳血管疾患、精神疾患のそれを上回る。職歴を有する事例については、労災補償の対象となる石綿肺、中皮腫、肺癌、良性石綿胸水、びまん性胸膜肥厚などの疾患があり、診察時には注意を要する労災補償対象となるか否かの基準と留意点、健康管理手帳制度についても触れる。また、産業保健、環境問題の観点から、今も残る石綿の処理について、方法と災害時などの課題を交えても画像を用いて、概説する。

一般演題

001

ペンブロリズマブが著効した 上大静脈症候群合併 PS 不良高齢肺扁平 上皮癌の一例

○柏原 光介、藤井 慎嗣、津村 真介、
坂本 一比古
熊本地域医療センター 呼吸器内科

症例は85歳男性、BI=1000。主訴は労作時呼吸困難。自立した生活を送っていたが、2018年1月頃から顔面浮腫が出現し利尿剤治療にて寛解増悪を繰り返した。同年3月頃から労作時呼吸困難が出現し胸部X線にて腫瘍陰影を指摘されて当科に紹介となった。来院時、顔面浮腫と右胸部の表在静脈怒張が観察され、右上葉肺扁平上皮癌 cT4N2M1a、IVA期（T4；右上葉に55mm大腫瘍、上大静脈・心房内腫瘍浸潤による完全閉塞と側副路形成、M1a；右胸水・心嚢液、EGFR・ALK・ROS-1陰性、PD-L1 TPS 95%）と診断された。PS 3の高齢者であったが、PD-L1 超高発現であったことからペンブロリズマブ（PMB）治療を開始した。Pseudo-progressionを経て6サイクル施行し肺癌病巣と表在静脈怒張はほぼ消失した。同時期より甲状腺機能低下症による倦怠感と食欲低下が出現したことからPMBを休止し補充療法を行い、休止後2ヶ月でPMB治療を再開として現在、再増悪なく22サイクル治療中である。一般的にPMBを含む免疫チェックポイント阻害剤は年齢には関係なく、PD-L1 高発現やPS良好な患者に効果が期待できると報告されているが、PD-L1 超高発現の場合にはPS不良の場合にも治療効果が期待できるかもしれない。

002

ペンブロリズマブ投与後免疫関連有害事象で 全身性エリテマトーデス・抗リン脂質抗体症 候群を発症した症例

○馬場 裕太¹⁾、田代 宏樹²⁾、高橋 浩一郎²⁾、
栗原 有紀²⁾、原口 哲郎²⁾、小楠 真典²⁾、
中島 千穂²⁾、中村 朝美²⁾、木村 晋也²⁾、
荒金 尚子²⁾

1) 佐賀大学 医学部 卒後臨床研修センター

2) 佐賀大学 医学部 内科学講座 血液・呼吸器・腫瘍内科

症例は75歳女性。非小細胞肺癌 cT1cN1M1c Stage IV、PDL1 TPS 70%の診断にて、20XX年6月5日よりペンブロリズマブ単剤療法を開始した。7月1日に特に問題なく2回目のペンブロリズマブ投与を行ったが、その後急速に両側下腿浮腫が出現した。精査にて下肢静脈血栓症、門脈血栓症、甲状腺機能低下症を認め、DOAC、レボチロキシナトリウムを開始したが、その後も全身の浮腫が増悪し、倦怠感著明、体動困難となったため9月30日入院となった。入院後ペンブロリズマブによるirAEの可能性を考え精査を行ったところ、ANA 320倍、ds-DNA 陽性、リンパ球・血小板減少、ネフローゼ症候群、漿膜炎を認め、ペンブロリズマブによる免疫関連有害事象としての全身性エリテマトーデスと診断した。また、DOAC内服中にもかかわらず門脈血栓の増悪を認め、抗カルジオリピン抗体陽性であり抗リン脂質抗体症候群も合併している可能性が考えられた。免疫チェックポイント阻害薬のirAEとして全身性エリテマトーデスや抗リン脂質抗体症候群を発症した症例は稀であり、若干の文献的な考察を加えて報告する。

003

放射線療法単独で寛解を得た
気管原発扁平上皮内癌の一例

○東 泰幸¹⁾、渡橋 剛¹⁾、笹栗 毅和²⁾、
大平 秀典¹⁾、森本 俊規¹⁾、向田 賢市¹⁾

1)北九州総合病院 呼吸器内科

2)北九州総合病院 病理診断科

症例は75歳の男性。20XX年7月頃より咽頭の違和感があり、8月より嘔声が出現したため近医の耳鼻咽喉科を受診した。喉頭内視鏡検査で声帯に粘膜不整所見を認めため当院を紹介受診した。気管支鏡で観察したところ声帯から声帯直下の気管約5cmにわたって、黄白色で扁平に広がる粘膜病変を認め、経気管支生検ではSquamous cell carcinoma in situの所見であり、気管原発扁平上皮内癌と診断した。本症例は外科的切除を勧めたが、放射線治療単独を強く希望され放射線療法を施行し、治療後約2年再発なく経過している。

気管原発扁平上皮癌の治療としては切除可能であれば外科的切除が標準的であり、手術不能だが遠隔転移を認めない例では頭頸部の扁平上皮癌のデータから同時化学放射線療法が選択される。気管原発扁平上皮癌に対して放射線単独治療が行われた報告はあまりなく、文献的考察を加えて報告する。

004

超音波気管支鏡ガイド下針生検で膿性液が
採取された扁平上皮癌の一例

○東 和樹、犬塚 優、塩田 彩佳、三雲 七重、
麻生 達磨、前山 隆茂

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 呼吸器内科

症例は49歳男性。嘔声のため耳鼻科を受診、反回神経麻痺及び縦隔リンパ節腫大を指摘されて当科紹介となった。CTでは縦隔・左肺門に多数のリンパ節腫大を認め、左肺尖部に小結節を認めた。腫大リンパ節はいずれも内部が低吸収域で、辺縁のみに造影効果を認め、壊死性変化が疑われた。組織診断を目的に超音波気管支鏡ガイド下針生検(EBUS-TBNA)を行った。縦隔リンパ節は比較的境界明瞭、その内部は大部分が低エコーで血流に乏しく壊死が示唆されたが、まず同部から穿刺吸引を行い、4ml程度の黄色膿汁、白色粘性物質2個を採取した。さらにリンパ節辺縁の塑像な高エコーを示す部位から組織検体2個を採取した。上記いずれの検体も病理検査の結果、扁平上皮癌と診断された。画像で壊死変化を伴うリンパ節腫大では結核や真菌等の感染症と悪性腫瘍が鑑別となる。壊死が示唆される部位では良質な検体採取が困難で、感染リスクがあるため通常EBUS-TBNAに適さないといわれているが、本症例と同様に膿性液を採取し、扁平上皮癌の診断に至った報告が少数ながらあり、症例によっては同検査が診断に有用と思われた。

共催セミナー・展示・広告・寄付金 協賛企業一覧

第84回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会
九州支部 春季学術講演会を開催するにあたり、多くの企業の方々にご支援をいただきました。
ありがとうございました。心より深謝申し上げます。

第84回日本呼吸器学会・
日本結核 非結核性抗酸菌症学会
九州支部 春季学術講演会

会長 森本 泰夫

共催セミナー

MSD 株式会社
小野薬品工業株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社
日本イーライリリー株式会社
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社

展 示

チェスト株式会社

広告掲載

アクテリオン ファーマシューティカルズ
ジャパン株式会社
アステラス製薬株式会社
アストラゼネカ株式会社
株式会社新興精機
杏林製薬株式会社
サノフィ株式会社
正晃株式会社
中外製薬株式会社
帝人在宅医療株式会社
フクダライフテック九州株式会社

協賛・協力団体

一般財団法人 産栄会
北九州市
(公財)北九州観光コンベンション協会
産業医科大学 医学部 呼吸器内科学

(五十音順)

第84回日本呼吸器学会
日本結核 非結核性抗酸菌症学会
九州支部 春季学術講演会
プログラム・講演抄録

会 長：森本 泰夫

事務局：産業医科大学 産業生態科学研究所 呼吸病態学
〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1
TEL：093-691-7466 FAX：093-691-4284
E-mail：jrsk84@mbox.med.uoeh-u.ac.jp

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>

事務局

産業医科大学 産業生態科学研究所
呼吸病態学

〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1
TEL: 093-691-7466 FAX: 093-691-4284
E-mail : jrsk84@mbox.med.uoeh-u.ac.jp